地域企業・産業資料デジタルアーカイブについて

（1） このデジタルアーカイブは、東京大学経済学図書館が所蔵する地域企業・産業資料のうち、印刷物および近代の文書類について順次デジタル化をすすめているものです。

（2） このデジタルアーカイブの利用に際しては「東京大学経済学図書館電子資料利用規則」に同意したものとみなされます。

（3） 印刷物など他媒体への使用については、東京大学経済学図書館までお問合せください。

（4） 画像は白黒です。画像の撮影には文字が視認できるよう十分な注意を払っていますが、資料の欠損、変色、褪色等の劣化や、ノド部分の状態によっては、原本の文字が全て写っていないものがあります。これらについては資料の原形を保ちつつ、出来る限りの範囲で撮影したものとして了解下さい。写りの悪い資料については、東京大学経済学部資料室にて、所定の手続きにより原本の閲覧をお願いします。

（5） 本アーカイブに関する質問等については、東京大学経済学部資料室までお問い合わせ下さい。

（6） 本デジタルアーカイブの一部は、独立行政法人日本学術振興会平成 27 年度科学研究費補助金（研究成果公開促進費）課題番号 15HP8021 の交付を受けて作成しています。

0000 0115

(12)

八、設備使用実績報告ニ関スル件

一、要約

本報告ハ特ニ指定セザル限リ一連ノ設備ニ対シ所定ノ様式ニヨリソノ諸性能並ニ綜合的性能ヲ出来得ル限リ数字ヲ以テ説明シ殊ニ作業上ノ隘路ヲナセル部所ニオイテハソノ原因ヲ究明検討シ併テ将来ノ具体的対策ヲ併記願ヒ度ク一部御提出ノモノニ於テハ数字ナク具体的ニテ抽象的概括的ニテ見ルニ一抹ノ不安ノ感ナキニアラズ。必要アラバ詳細説明書又ハ青図ヲ添附シ以テ本規程ノ目的達成ニ御協力願ヒ度シ

最近ノ例トシテ輸西線材工場ニ於ケルローラーベヤリング軸受

日本製鉄株式会社

格規準書本B5 (182×257m/m)

東京大学経済学図書館所蔵 野本氏旧蔵日本製鉄関係資料 5507492774

0000 0116

及ハ幡ピロチュークエ場ニ於ケル「スクルトコンベヤー」ノ故障
等ハ其要点ニ之ノ對策等ニ就テ果敢報告
セラルベシ

日本製鉄株式會社

東京大学経済学図書館所蔵 野本氏旧蔵日本製鉄関係資料 5507492774

0000 0117

八、設備使用實績報告規程ニ就テ

(一) 規程作成ノ目的

我社ハ鉄鋼増産ノ國家的要請ニ則シテ從來幾多ノ之ガ製造設備ノ建設又ハ増設ヲ行ヒタルモソノ使用實績ニ関シテハ、各現場ニ於テ個々ニ之ヲ調査檢討セリト雖モ、日鉄全体トシテノ綜合的ナル檢討ヲ加ヘタルコトナク、從テ建設又ハ増設スルニ當リ前轍ヲ踏ムノ憾ナシトセズ、依ツテ海軍ニ於テハ既ニ長年兵器ノ使用實績ヲ調査シ優秀ナル成績ヲ擧ゲツヽアルヲ以テ、コノ海軍ノ規程ヲ參考トシ、現有設備ノ運用並ニ將來ニ於ケル計畫實施ノ適正ヲ期センガタメ、本規程ヲ作成シソノ實施ヲ見ルニ到レリ。

(二) 報告スベキ対象範囲

多種多様ナル製鉄上ノ諸施設ニ対シ、悉皆之ガ使用實績ヲ報告スルハ煩雜ニ過ギ却ツテソノ効果薄キヲ慮リ既ニ表示セル如ク、一群ノ設備即チ一セット毎ニ大別シソノ綜合的性能ヲ檢討スルコトトシ、又一セット中ノ一部ニツキ報告ヲ必要トスル際ハ特ニ指示シテ檢討ヲ煩ハスコトヽセリ。

尚設備相互間ノ境界ニ関シテハ、不明瞭ニシテ判然タラザルモノアリト雖モカヽル際ハ作業ノ實情ニ則シテ宜シク判定願ヒ度シ。

(三) 報告書記載要領

報告書ノ記載ニ関シ參考マデニ其ノ要領ヲ述ブレバ左ノ如シ

1、新設又ハ改造概要欄

ソノ施工目的及ビ該施設ノ寸法、容量等ヲ略記シ一見ソノ全貌ヲ窺知セシムルコト。

2、能力欄

生産量、處理量又ハ容量等量的能力ヲ該施設本来ノ目的ニ則シテ記入シ、ソノ計畫量ト實績トヲ比較シ併テ將来ノ見透シヲモ記入シ、生産量又ハ處理量ハ年平均、月平均、日平均又ハ時平均ノ何レカ適當ナルモノヲ以テ表ハスコト。尚該施設ノ性能以外ノ原因ニヨリ實績ニ影響ヲ受ケシ際ハソノ原因ヲモ附記スルコト。

3、出來榮欄

設計製作及ビ工事上ノ出來、不出來ヲ檢討シ記入スルコト。

東京大学経済学図書館所蔵 野本氏旧蔵日本製鉄関係資料 5507492774

4、安全性欄
対圧、対磨粍性、対衝撃性、対火性、対水性、対熱性、対酸性、及対アルカリ性等、物理的並ニ化学的ノ設備自体ニ対スル性能並ニ人体ニ対スル防護安全性ヲ記入ノコト。
出来榮ト不可分関係ヲ有スル際ハ結果ノミヲ記入ノコト 但シ重記ヲサマタゲズ。

5、操業欄
能力欄ニ準ジ該施設ノ操作運轉等ニ直接必要ナル諸物ノ使用實績ト
ソノ計画トヲ比較シ、必要ニ應ジ操作ノ難易ヲモ併記ノコト。

6、ソノ他ノ諸性能欄
前記諸性能ニ屬セザルモノヲ記スルコト。

ク、綜合性能及特記事項欄
主トシテ該施設ノ優劣ナル点ヲ明示シ併テ之ガ改善ニ関スル具体策
ヲモ記入ノコト
以上記入ニ際シ、ソノ急所、重点ハ出来得ル限リ詳細ニ記入シ必要アラバ別ニ説明書ヲ添附ノコト。

（附表其ノ一）　製鉄用諸施設

区分	名称	摘要
製銑関係	一、原料設備	積卸設備ヲ含ム鉱石置場ヲ含ム
	二、焙焼焼結及團鉱設備	
	三、熔鉱炉	巻上機、除塵器、鎔銑ヲ含ム
	四、熱風炉	熱風管ヲ含ム
	五、送風設備	送風管ヲ含ム
	六、瓦斯清淨設備	瓦斯管ヲ含ム
	七、出銑出滓設備	鍋及台車ヲ含ム
	八、鑄銑設備	
	九、ガス溜	
	一〇、	
	一一、	
	一二、	
	一三、原料設備	

区分	名称	摘要
製鋼関係	一四、混銑炉	
	一五、稼備精煉炉	
	一六、平炉	
	一七、電氣炉	
	一八、轉炉	
	一九、出鋼場設備	鍋台車ヲ含ム
	二〇、造塊設備	鑄型ヲ含ム
	二一、燃料設備	發生炉、送風機等ヲ含ム
	二二、ドロマイト設備	
	二三、石灰設備	
	二四、	
	二五、	
	二六、	

東京大学経済学図書館所蔵 野本氏旧蔵日本製鉄関係資料 5507492774

炉スクーコ	係関造製材鋼	
四一、化成品精集設備	三五	三五、庇取設備
四四、コークス輸送設備	三五	三六、加熱設備備
四五、コークス設備	三五	三七、圧延設備備
四六、送炭設備備	三五	三八、引抜設備備
四七、洗炭設備備	三五	三九、切断及精整設備
四八、貯炭設備	三五	三九、鍍金設備備
コークス炉ヨリ新設ヲ		試験設備ヲ含ム
		酸洗設備ヲ含ム
		押出設備ヲ含ム
		外輪鍛造設備ヲ含ム
		均熱焼鈍焼準炉ヲ含ム

係関	品成	係関
三五	四五、石炭酸精製装置設備	四三
三五	四六、タール蒸溜設備	
三五	四七、ベンゾール類精製設備	
三五	四八、軽油製造設備	
三五	四九、硫酸及有機合成製造設備	
三五	五〇、硫安製造設備	
三五	五一、アナクラシン製造設備	
三五	五二、瓦斯配給設備	
	圧縮設備及ガス溜ヲ含ム	

係	名稱	摘要
六四、	動力関係	
六五、	電線及電話設備	
六六、	照明設備	
六七、	発電設備	
六八、	受電設備	
六九、	変電設備	
七〇、	汽罐設備	
七一、	機械工作設備	
七二、	鉄工設備	
七三、	鍛造設備	
七四、	鋳造設備	
	燃料鉱石設備ヲ含ム	
	工場蒸気汚罐ヨリ発生ガス炉ヲ含ム	

係	名稱	摘要
七五、	運搬関係	
七六、	雑船	
七七、		
七八、		
七九、		
八〇、	荷役設備	
八一、	路線設備	
八二、	車輛設備	
八三、	起重機設備	
八四、	製業関係	
八五、	水洗製造設備	
八六、	鉱滓ヲ以テ製造設備	鉱滓綿製造設備ヲ含ム
八七、	鉱滓煉瓦製造設備	
八八、	粘土煉瓦製造設備	
八九、	硅石煉瓦製造設備	

東京大学経済学図書館所蔵 野本氏旧蔵日本製鉄関係資料 5507492774

関係	八六、マグネシア及クローム煉瓦製造設備
	八七、ドロマイト製造設備
	八八、石灰製造設備
	八九、
	九〇、
	九一、
其ノ他	九二、港湾設備
	九三、貯水池設備
	九四、送水、給水及排水設備ヲ含ム
	九五、工業建家
	九六、検定設備
	九七、研究設備
	九八、計器類
	九九、福利設備
	一〇〇、
	秤量機ヲ含ム
	試験設備ヲ含ム

註、本表ノ設備トハ所謂一プラントヲ意味シ之ヲ運轉スルニ要スル諸施設（例ヘバ平炉ニ於ケル起重機、ドロマイト投射機等）ヲ含ム

モノトス

（附表其ノ二）

施設使用實績報告書

第　回

| | | |